

第5章 観光推進のためのリーディングプロジェクト

本計画の推進にあたり、市と関連事業者・団体等が連携し、積極的に取り組むリーディングプロジェクトを以下に示します。

1 ブランディングのためのイメージアッププロジェクト

キラーコンテンツ(地域ブランドなど)による魅力アップ戦略 (p33)

○より多くの方が西尾を訪れていただくためには、認知度の向上とPR・イメージ戦略が欠かせません。認知度を上げるために、「西尾といえば抹茶・うなぎ・えびせんべい」というような印象を持っていただくような魅力アップ戦略を試みます。

プロジェクト名	内容
地域ブランドの深みにふれようプロジェクト	・特色(抹茶の歴史・製法、ウナギの養殖現場、えびせんべいづくりの見学・体験など)を知り、深みに浸るプログラムの開発・実施
定番土産をつくろうプロジェクト	・キラーコンテンツを活かしたお土産品の開発 ・定番化のための積極的なPR・販売施設の充実

時代に合ったPR・イメージアップ戦略 (p40)

○西尾を県内外の人に知ってもらい、興味を持ってもらうためには、西尾の魅力を届けるためのコンテンツを創出し、拡散することが不可欠です。その意味で、魅力が詰まった動画コンテンツの作成、インフルエンサーやメディアを積極的に活用して「広く伝わる」発信を行います。

プロジェクト名	内容
デジタルプロモーションプロジェクト	・デジタルプロモーションのための動画コンテンツの作成
にしおバズるプロジェクト	・インフルエンサーやメディアの積極的な活用 ・オリジナルハッシュタグ「#にしおじかん」を用いた投稿拡散 ・フィルムコミッションを活用したロケ誘致

ターゲットに応じた多様な方法での情報発信 (p41)

○価値観が多様化する社会の中で、「誰に、どんな方法で情報を届けるか」を明確化し、ターゲットや目的に応じて多様な媒体を活用し、観光に関わる様々な主体と連携しながら「届けたい人に届く」情報を発信します。

プロジェクト名	内容
届けたい人に届く情報発信プロジェクト	・若者向けグルメ情報の提供やインフルエンサーによる SNS 広告 ・子連れ家族を対象とした観光周遊ルートの発信 ・シニア向け団体旅行コンテンツの発信
多様な方法での情報発信プロジェクト	・SNS や観光情報誌など多種多様な媒体での発信 ・観光関連事業者や宿泊施設、交通事業者など官民一体での発信

2 ターゲット別観光商品の開発プロジェクト

心に残る観光プログラムの開発 (p37)

○非日常を味わい、ゆっくり過ごすことができる時間を楽しみ、西尾でしかできない心に残る体験をしていただくために、観光協会が提供する既存の着地型旅行商品の内容を充実させるとともに、観光関連事業者と連携し、さらに魅力ある観光プログラムの開発を行います。

プロジェクト名	内容
ナイトツーリズム促進プロジェクト	・プロジェクションマッピングなど魅力ある夜型観光コンテンツの開発・実施
にしおでリラックス！リトリートプロジェクト	・ロケーションの良い場所で、オリジナルな茶空間を体験できる抹茶ツアー等の開発・実施
既存ツアーのブラッシュアッププロジェクト	・人気の着地型旅行商品の積極的なPR ・既存の着地型旅行商品の評価・改善 ・自然環境や歴史文化などテーマ型で楽しむツアーの開発

豊富な資源同士をつなぐ、飽きない観光ルートの形成 (p38)

○何度も訪れたいくなる西尾にするために、「また来たい！」と思えるような市内観光ルートを形成するなど、「飽きさせない」ための取組を行います。

プロジェクト名	内容
観光ルート開発・発信プロジェクト	・四季折々の観光ルートや、年代・同伴者にあわせたルートの開発 ・既存ルートの戦略的なPR
周遊を促す仕掛けづくりプロジェクト	・周遊を促すスタンプラリーの実施
広域観光推進プロジェクト	・広域的な観光連携によるデジタルスタンプラリーや SNS を活用したグルメ情報の提供 ・周遊観光ツアーの造成